

校長室だより

NO.10 平成28年 9月30日

松原市立松原東小学校長 吉岡 英治

二十四節季 「寒露（かんろ）」

10/8頃 九月節 太陽視黄経 195 度 陰寒の気に合って、露むすび凝らんとすれば也（暦便覧）冷たい露の結ぶ頃。

秋もいよいよ本番。菊の花が咲き始め、山の木々の葉は紅葉の準備に入る。稲刈りもそろそろ終わる時期である。

10月11日には、本校でも稲刈りを予定しています。代かき、もみ蒔きからお世話いただいたことを胸に、一株、一株大切に収穫したいと思います。実りの秋本番！！

いよいよ運動会も、2日後となりました。今年は、9月10日以後すっきりと晴れてくれる日が少なく、9月20日には台風16号の接近に伴い休校措置となりました。本当に、運動会の練習も体育館等室内が多くなりました。束の間の晴れを、1時間を2つの学年が分けて使うなど、工夫しましたが、運動会直前の週に団体演技を初めて運動場で行うような状態で、直前の週も3日程度しか、運動場が使えませんでした。応援団の練習も体育館がほとんどでしたが、応援団員が休み時間に各教室へ行って練習してくれていました。

今年は、天候不順で、十分やりきれていないところもあるかと思いますが、子どもたちも限られた条件の中で、工夫して取り組みました。がんばってきた子どもたちに、あたたかい励ましの言葉をご家庭でもかけてあげてください。



校庭のザクロ



雨の合間の全体練習

9月28日はじめての運動場



子どもへの評価ではなく、事情を話してみて、解決策を考える。米国の心理学者 M.ローゼンバーグが「非暴力コミュニケーション」という言葉でも提唱しています。

例えば、前回の大きな音の音楽の問題も、「あなたは、音のうるさい音楽は何だ」と、相手进行评估する言い方ではなく、「〇〇が起こったとき（客観的事実）に、自分は××と感じた（自分お気持ち）。私は、△△してほしいから（自分の要望）、□□してもらえないか（具体的依頼）？」という言い方をしてみるということです。

前述以外でも「あなたはいつも嘘ばかりつくのね」と言わないで、「あなたが本当のことを言ってくれなかったから、私は悲しかったわ。親として信頼してもらいたいもの。これからは、本当のことを言ってくれる？」と言ってみてはどうでしょう。

広い意味で親としての責任を果たしながら、会話そのものは対等な人間関係をとるやり方となっています。起こった事象や子どもの状況によっても違いがあるかも知れませんが、さらにエスカレートさせずに、心に届く指導を心がけたいものですね。

次回は、「感情との向き合い方」

いも汁室昇鉢